

ダイバーシティ事業 国際交流

人間発達環境学研究所 佐藤春実

- 訪問先: インペリアル・カレッジ・ロンドン(工学部化学工学科)
- 受入れ教員: Serigei Kazarian教授
- 期間: 2019年1月21日-2019年3月17日

調査したこと・参加したイベント

- 女性教員比率
- 女性教員(理系)の働き方
- 女子学生の数
- 国際女性デー講演会に参加
- シンポジウム(研究会)への参加

1

女性教員比率

- 調査項目(大学)
- ・役員数(5人) うち女性役員数(3人) 学長は女性
- 調査項目(工学部、化学工学科)
- ・役員数(7人) うち女性役員数(1人)
 - ・教員数(44人) うち女性教員数(7人)
 - ・教授数(24人) うち女性教授数(4人)
- 調査項目(工学部、生物工学科)
- ・教員数(45人) うち女性教員数(9人)
- 調査項目(工学部、機械工学科)
- ・教員数(52人) うち女性教員数(7人)
 - ・教授数(19人) うち女性教授数(2人)

インペリアルカレッジは理系に特化した大学
女性教員は日本に比べて多い

女性教員(理系)の働き方

- 出産の前後1年ずつは研究以外の大学の業務(授業や会議など)は完全に免除(第2子以降でも同様)
- ライフイベント等に関する情報は大学のウェブページに明記
<http://www.imperial.ac.uk/parents-network/before-baby/maternity-leave-entitlement/>

- 教員の勤務時間は元々それ程長くない
 - 夜遅くまでの勤務の習慣はない
- 授業と会議が免除されれば、出産や育児で大きく負担がかかることは無いのでは

2

女子学生の数

- 学内で見かける女子学生数は、総合大学並みに多い
- 女子学生の自己紹介(写真付き)や、博士課程の女子学生たちの顔写真入りポスターなどが学内に掲示

女子学生の存在アピール(?)
学ぶための環境が整っているアピール(?)

参加したセミナー

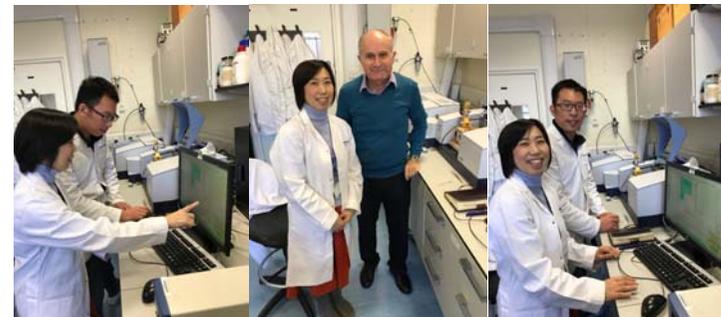
1. Prof. Kazarian's group seminar (2/7/2019)
2. インペリアルカレッジ・東工大合同セミナー
3. Dr. Dhaval Bhandari Seminar (2/25/2019)
4. Woman@Imperial Week (国際女性デー(3月8日)を含む1週間)

Women@Imperial Week presents: Speeding up gender equality in higher education

セミナーやイベントは日常的に数多く開催されている。案内は学内のMLやポスター掲示など。学生も積極的に参加。異分野の研究者が議論しやすい環境。

3

Imperial College London

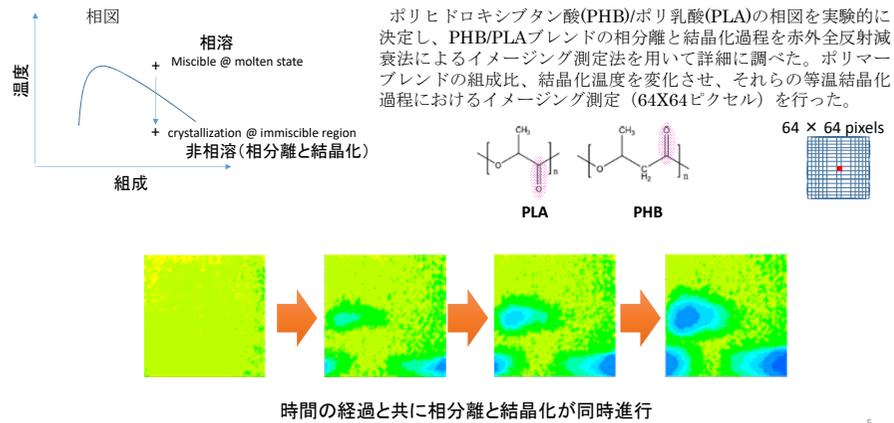


Prof. Sergei Kazarianと実験室にて

Huiqiang LU氏と

4

研究課題: 赤外全反射減衰法を用いたイメージング測定によるポリマーブレンドの相分離と結晶化挙動



5

研究成果

1. 国際シンポジウム(Recent advances in spectroscopic imaging and related modern techniques 3)
"Phase separation and crystallization behavior of PHB/PLLA blends by ATR-FTIR Imaging" Harumi SATO, Tokyo Institute of Technology, 13th May, 2019
2. 共著論文執筆中

謝辞

本プログラムで約2か月間、イギリスのインペリアルカレッジの研究室に短期訪問することができました。神戸大学男女共同参画推進室に心より感謝申し上げます。

研究面だけでなく効率のよい仕事の仕方など、とてもよい刺激になりました。また、インペリアルカレッジはロンドンの街の中心地にあり、短期訪問研究員用の宿舎がないのですが、本プログラムでサポートしていただいたことで、期間中は大学近くに滞在することができ研究に集中することができました。滞在中にかなりの量の実験を行うことができましたので、それらのデータを用いて近日中に論文投稿する予定です。訪問先の教授とは引き続きメール等でディスカッションを行い、今後もインペリアルカレッジとの共同研究を継続したいと考えています。

6